

第17章 3.東ヨーロッパ内の動揺

東ヨーロッパ諸国の動き

- ①[1]]帝国の解体進行(20世紀初頭～)
[2]]帝国の崩壊(第一次大戦)のなかで形成→ソ連への緩衝国の役割
- (1)ポーランド … 第一次大戦後、ロシアから独立→ロシアの一部を占領
(2)チェコスロバキア…第一次大戦後、オーストリアから独立→東欧最大の工業国、民主主義の発達
(3)ハンガリー…第一次大戦後、オーストリアから分離(←オーストリア=ハンガリー帝国)
(4)ユーゴスラビア…第一次大戦前の独立国[3]]・モンテネグロが、オーストリア領のスロベニア・クロアチア・ボスニア=ヘルツェゴビナなどと統一し成立
(5)ルーマニア…20世紀初頭、トルコから独立、旧オーストリア領の一部と合併
(6)ブルガリア…20世紀初頭、トルコから独立、一次大戦の敗戦国
- ②第二次大戦以後、多くの国が[4]]の軍事占領下に置かれる
→ソ連の介入などにより[5]]体制が成立(実際はソ連の衛星国)
- 軍事同盟=[6]]、経済機構=[7]]に参加
- ③ユーゴスラビア…社会主義者[8]]が率いるレジスタンスが独力で解放
→しだいにソ連の影響下から離脱(1948 コミュンフォルム除名)
→[9]]社会主義、[10]]外交=1961[11]]会議開催

c.東欧諸国の危機

- ①1953 スターリン死亡、1956 フルチシヨフによる[12]]実施
→社会主義諸国の動揺強まる
- (1)ポーランド=1956ポズナニ暴動→[13]]復活、自由化路線への転換
- (2)[14]]動乱=[15]]首相のもとで緩和政策実施、
しだいにソ連からの離脱を求める動き強化→デモの拡大→ソ連軍の介入、ナジ首相処刑される
- (3)[16]]…チャウシェスク大統領のもとで、中国接近など自主独立路線へ、
- (4)東ドイツ…ベルリンを経由しての人口流出つづく→[17]]構築
- ②チェコ=スロヴァキア
1968[18]]第一書記、「人間の顔をした社会主義」をめざす(「19
」)→[20]]を唱えるソ連などの軍事介入を受ける。
- ③ポーランド
1970 グダニスクなどでのデモ発生→ギエレク政権成立=外資の導入などをはかる
1980 グダニスクの造船所などでスト発生→自主管理労働組合[21]]結成
(委員長[22]])

→1981ヤルゼルスキ政権、戒厳令をだし、「連帯」を非合法化

d.西ヨーロッパの復興とEU

- ①第2次大戦後の西ヨーロッパ=地盤沈下すすむ、東欧の社会主義化で冷戦の最前線に、経済混乱
↓
アメリカの支援 ([23]]など)により驚異の経済復興を遂げる
- 仏・英・蘭など植民地帝国の再建を目指す→1956[24]]戦争の挫折で決定的に
- ②フランス
1)大戦後=[25]]政成立→不安定な政権
植民地回復戦争([26]]戦争、[27]]独立戦争、スエズ戦争)に挫折
- 2)1958 アルジェリアでの軍部の反乱をきっかけに[28]]が政権を奪取
→[29]]政成立=巨大な大統領権限を認める
- 3)ドゴール大統領の外交=フランスの主体性を強調し、「第三極」の形成をめざす。
1962 [30]]独立を承認、1964中国承認
- 1960核兵器開発を進める、1966NATOの軍事機構からの脱退
↓
「第三極」としての西ヨーロッパの統合をめざす=西独、アデナウアー首相と会見和解に
- ③西ドイツ…首相[31]](キリスト教民主同盟)のもとで奇跡の経済復興を実現
1955 主権回復=再軍備の承認と[32]]、NATOへ加盟
- 1972 ドイツ基本条約([33]]首相 社会民主党)=東西ドイツの相互承認
→1973両国とも国際連合加盟へ
- ④ヨーロッパの統合
1951[34]](ECSC)結成=西独・仏・伊・ベネルクス3国
- 1957[35]](EEC) ヨーロッパ原子力共同体(EURIATOM)
*これにたいしイギリスなどヨーロッパ自由貿易連合(EFTA)結成
英・スウェーデン・デンマーク・ノルウェー・オーストリア・スイス・ポルトガル
↓
1967 3機関を統合して[36]]([37]]を結成
- ⑤1973 イギリスなど3国 1981ギリシア 1986スペイン・ポルトガル、ECへ加盟
↓
1992 [38]]条約締結→1993 [39]](EU)発足
・1999年までの通貨(=[40]])統合、共通の外交政策と安全保障政策をすすめる
- ⑥1995 スウェーデンなど3国加盟、東欧諸国のオブザーバー参加(準加盟協定)